

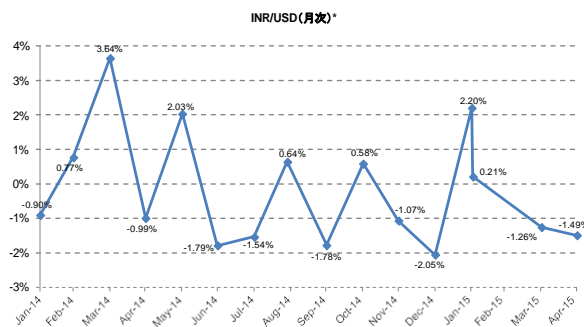
### 1年間のBRICS業績比較\*

インドのSENSEXはBRICSで2位に(1年間)



降順で表示(2014年4月30日~2015年4月30日): SHCOMP(上海総合指数)、MICEX(モスクワ証券取引指数)、BSE SENSEX(ボンベイ証券取引所)、IBOVESPA(ブラジルサンパウロ証券取引所)

### INR/USD チャート(2014年1月~2015年4月)\*\*



\*出典:ブルームバーグ

\*\* S&P

### 2015年4月の外国人機関投資は148.4億USドル

4月の外国人機関投資はおよそ24億USドルで、年初からの合計投資額は148.4億USドルとなった。

### SensexとNiftyは2015年4月は低下

4月にBSE Sensexは低下し、4月の月末終値は27011となった。Niftyの終値は8,181(2015年4月30日時点)。

### ムーディーズはインドの格付けと見通しを引き上げ、フィッチは格付けを据え置き、見通しは安定的

格付け会社ムーディーズは、インドのソブリン債の格付けをBAA3とし、見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げた。フィッチはインドの格付けをBBB-に据え置き、見通しは「安定的」とし、インドで行われている改革が高成長へと結びつくのは、実際の施行がカギを握ると述べた。

### インドの外貨準備高は記録的な高さに(2015年4月)

4月24日終わりの週に、インドの外貨準備高は、14億USドルにまで上昇し、3446億USドルの新記録を達成。これは、中央銀行がルピーの弱さや経常赤字に関連した問題に対処するため、経済を強化しようとしているためである。

### 世界銀行とIMF:インドの2015年の成長は、中国を抜き、世界で最も成長している経済圏となる

インドの今年および来年の経済成長は以前の予測を上回り、2015年には中国を抜き、世界で最も成長している経済圏となり、2016年にはその差はさらに拡大するだろうと国際通貨基金(IMF)および世界銀行は、個別に発表した。どちらの通貨も今年のインドの成長率が7.5%に達すると予測している。

### モディ首相のフランス、ドイツ、カナダへの9日間の訪問は成功裏に終わる

モディ首相は「メイク・イン・インド」の取り組みをフランス、ドイツ、カナダで促進し、インドへの投資を促した。

**フランス:** モディ首相がパリでフランス大統領と会談し、フランスのビジネスリーダーたちと交流を行った際には防衛、エネルギー、インフラが議題の中心となった。この訪問を受け、エアバスグループは、インド企業からの航空宇宙部品の調達を拡大する見込みだ(今後5年間におよそ20億USドル)。インドとフランスはまた、民生用核協力協定の初期段階での運用を目的とした取引に署名した。

**ドイツ:** モディ首相はアンゲラ・メルケル首相と会談し、ハノーバー・メッセを訪問した。ハノーバー・メッセは、世界最大の産業技術見本市のひとつとされ、インドは今年パートナー国となっている。モディ首相は、ドイツのヨーロッパの製造ハブとしてのリーダー的役割から学ぶことを表明。訪独中に二か国間の政府で正式な協定は交わされなかったものの、エネルギー、能力開発、科学技術といった分野ならびにモディ政府のデジタル・インドやクリーン・インドなどの取り組みへの協力を強化していくと発表した。

**カナダ:** モディ首相はカナダを訪問。インドの首相が同国へ訪問するのは、42年ぶりのこととなる。カナダでの初日に、同国最大のウラン鉱山会社であるカメコがインドの原子炉へウラン燃料を供給する2.8億USドルの5年間契約を交わされた。この長期的な契約により、サスカチュワン州に拠点を置くカメコがインドへ2020年まで710万ポンドのウランを販売し、長年にわたって停止されていたインドへの核物質の輸出が正式に解禁となった。

### インド以外では、新興市場はグローバル株式市場においてブラックホールとなっている-UBS ウェルス・マネジメント

中央銀行の金融緩和や経済の回復に後押しされ、ウォール街では高値が続き、ヨーロッパの株式は7年ぶりに最高高を記録し、日本市場は15年ぶりに高値を記録している。こうした中で、新興市場はグローバルの株式市場でブラックホールとなっている。UBS ウェルス・マネジメントのCIOであるJorge Mariscal氏は、新興市場への配分は少ないものの、インドに対しては成長や企業収益といった要因から戦略的に重きを置いていると述べた。

### CPI&インフレ

CPIインフレは2月の前年比5.4%に対し、3月は前年比5.2%と微減。3月のコアCPIインフレは、2月の4.12%から4.11%へと横ばい。季節外れの雨の食品インフレへの影響は今までのところ見られない。年間で見ると、前年度の9.5%に対し、2014-2015は6%に低下。

UTI International (Singapore) Private Limited (以下「UTI IS」)は、シンガポール金融庁(MAS)の規制を受け、資本市場サービスライセンスを保有し、ファンドマネジメントに関する規制対象業務を行っています。UTI IS は、このようなレポートの完全性や正確性に関して、一切の責任を負わないものとします。レポートは、株式のオファーに相当するものではなく、推奨、意見の主張、広告でもありません。ステートメントの内容は、特別な目的、金融機関やこのステートメントを受け取る特定の人のための特別なニーズに関係なく、情報提供のみを目的としており、そのような人には、ファンドの株式の購入契約を行う前に、金融アドバイザーからのアドバイスを求めることをお勧めします。もしそのような人がそのようなことを行わなかった場合、その人はその投資が自分に適しているかどうかを慎重に考慮すべきです。ここで述べられているファンドの過去の業績は、将来的な業績を示唆しているとは限りません。

ここで説明されているファンドは、シンガポール金融庁(以下「MAS」)によって認められた制限された計画であり、機関投資家(用語は証券先物法(第 289 条)(以下「SFA」)で定義されている)および適格投資家(用語は証券先物法(第 289 条)(以下「SFA」)で定義されている)にのみ提供または販売されています。免責金融アドバイザーとして、UTI IS は、FAA の下、規則 33、34、35、36 または金融アドバイザー法(以下「FAR」)の他の規則に従って、「機関投資家」「適格投資家」「海外投資家」「シンガポール国民ではない」「シンガポール永住者ではない」「シンガポール国民または永住者に全てまたは一部依存していない」シンガポール国外に住む個人、またその他の例としては、シンガポールに商業拠点を置いていないまたは物理的に所在していない人)に関して対象となる免責に基づくことができます。

[www.utifunds.com](http://www.utifunds.com) にアクセスしてください